

環境報告書 2017

Environmental Report

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
CS 本部

目 次

経営者からのメッセージ	3
1. 当社 CS 本部の概要	4
1-1. 組織概要	4
1-2. 環境活動推進体制	5
1-4. 事業概要	7
2. 環境マネジメント	8
2-1. 環境方針	8
2-2. 環境側面の特定	9
2-3. 環境マネジメントの目的・目標	9
2-4. 廃棄物による環境負荷低減の活動	9
2-5. 省エネルギーと CO ₂ の削減活動	10
2-6. 環境負荷低減の意識向上による活動	10
3. 環境負荷低減へ向けた活動	11
3-1. 省エネルギー・CO ₂ の削減推進	11
3-2. 環境保全活動	12
3-4. 地域美化活動	13
3-5. 有収率向上活動	15

経営者からのメッセージ

近年世界規模の異常気象は、地球上の環境に大きな影響を与えています。

この環境下で、限りある水資源を守ることが、弊社の社会的責務であり、環境保全について従業員一人ひとりがその重要性を共有し全員参加の活動に発展させていくことが使命であると考えております。

各自治体から水道料金徴収事務や漏水調査業務をご用命賜り、それを主たる事業としている弊社においての環境に対する取り組みの一例として、検針業務において異常水量を発見し水量増加の場合で調査を行った結果、漏水が判明することがあります。その調査結果を水道ご使用者にお伝えし漏水箇所が早期に修繕されることで、ご使用者に不要な料金負担をさせることが防げます。更に貴重な水資源浪費を抑制することに繋がります。また未納料金の支払い交渉では、ご使用者と共に支払計画を立て、同時に節水方法をご提案することで早期に未納料金解消に至ることができます。ご使用者から感謝していただき、自治体からの評価を得られ、水資源の節約を実現することができるのです。

水資源の節約のみならず、弊社の環境に対する取り組みは多岐に渡っております。従業員の外勤業務の移動手段として自転車や電動自転車、電動バイクを積極的に導入することで、排気ガスによる大気汚染抑制を目指しております。また、事務所の周りや地域の海岸清掃活動を実施して環境美化や従業員の意識向上を図っております。

今後も各自治体からの水道関連業務受託をとおして、微力ながら環境保全に取り組み、社会に貢献できる企業を目指してまいります。

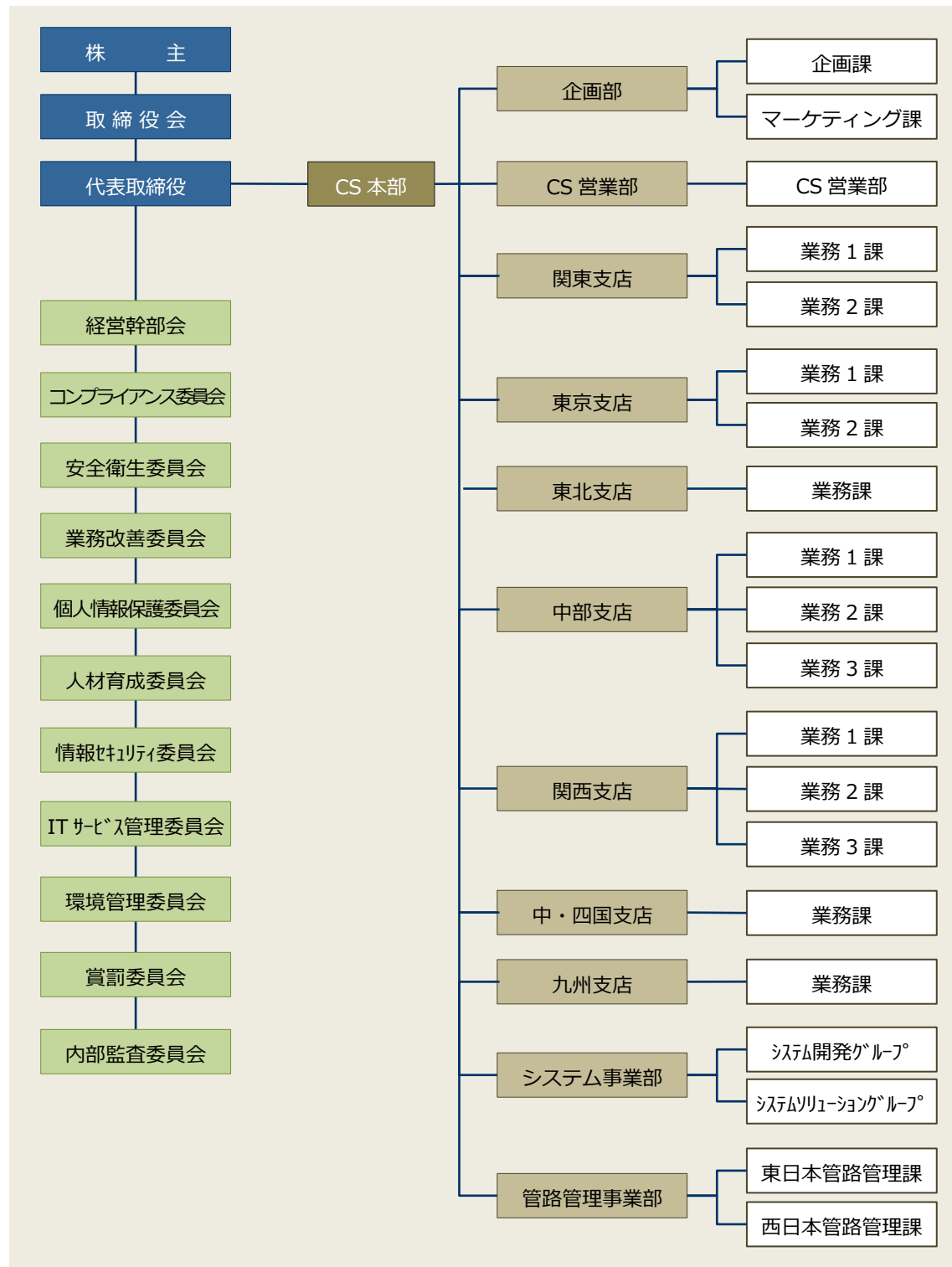


ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
代表取締役 深澤 貴

1. 当社 CS 本部の概要

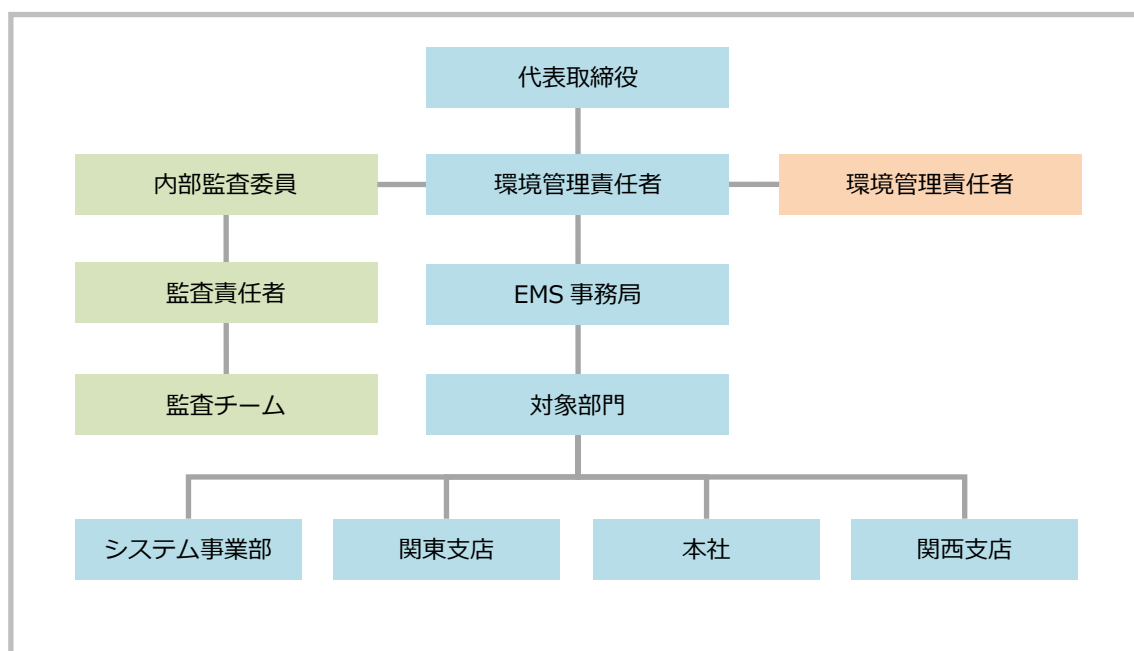
1-1. 組織概要

組織図



1-2.環境活動推進体制

環境マネジメント推進体制図



トップマネジメント 代表取締役	● 環境方針の表明 ● 環境マネジメントの実施及び管理に不可欠な資源を投入 ● 環境マネジメントシステムの見直しを実施
環境管理責任者 トップマネジメントが指名	● JIS Q14001 に従って、環境マネジメントシステムの要求事項が確立され、実施され、かつ維持されことを確実にする ● 社長に環境マネジメントシステムの実績を報告し、改善のための提案をする ● 環境管理委員会の委員長として、招集、運営を行い委員会をまとめる ● 各部門の部門長を指名し円滑な運営推進を行う
EMS事務局 トップマネジメントが指名	● 環境管理責任者を補佐する ● WG（ワーキンググループ）のメンバーへ事務局からの連絡事項を伝え、部門の情報を収集する ● 環境管理委員会にて報告を行う ● 環境管理委員会の内容を、環境管理委員会議事録にまとめ、部門に周知する

部門長 環境管理責任者が指名	● 環境方針、目的・目標を達成するため、各部門において環境マネジメントシステムが確立され、実施され、かつ維持されることを確実にする ● マネジメントプログラム進捗状況評価や環境管理委員会のメンバーとしての役割を担う部門の WG を指名し、WG に指示を出し、環境マネジメントシステムの運用を円滑に進める ● 環境管理委員会に参加し、審議事項等の承認を行う
内部環境監査リーダー	● 環境マネジメントシステムが JIS Q14001 の要求事項に合致し適切に実施されているか検証する ● 監査結果に関する情報を社長、環境管理責任者、被監査部門長に報告する ● 内部監査チームのとりまとめを行う
内部環境監査チーム	● 内部環境監査リーダーを補佐する
環境管理委員会	● 環境マネジメントシステムの計画・実施・維持に関する事項、環境マネジメントプログラムの進捗報告や環境関連の情報伝達を行う ● 「全社目的・目標」等の審議及び是正・予防処置の情報から、他部門への水平展開の必要性について審議等を行う ● 内部環境監査・外部再認証審査及び・維持審査マネジメントレビュー等により継続的改善項目の提案があった場合に承認をする ● マネジメントレビューにより社長からのアウトプットされたものを承認する
WG (ワーキンググループ)	● 事務局と各部門とのパイプ役として、必要な情報や事務局からの連絡事項を部門長に伝える ● JIS Q14001 の認識を深め、部門長指示の下に部門内の推進役を担う ● 必要に応じて、環境管理委員会に参加し、審議事項等の承認を行う
各部門	● 部門長指揮の下に、環境マネジメントシステムが確立され、実施され、かつ維持される事を確実にする ● 環境マネジメントプログラムの作成と実行、及び監視・測定を実施する ● 不適合の是正処置を行う

1-4. 事業概要

組 織 名	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 CS 本部
設 立	1997 年 1 月 20 日
対 象 範 囲	本社 ・ システム事業部 ・ 関東支店 ・ 関西支店
部門員人数	62 人
対 象 期 間	2016 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

2. 環境マネジメント

2-1. 環境方針

基本理念

私たちは、地方自治体から水道事業を受託する企業の本社部門として相応しく、次世代を見据えた水道事業のシステム開発、及び人と自然が調和する健全な地球環境を目指し企業活動を推進します。

基本方針

1) 企業活動を遂行するにあたり、以下の取組を中心に実施し、環境への負荷低減及び汚染の予防に努めます。

- 省資源・省エネルギーへの取組
- 廃棄物の分別、削減及びリサイクル活動
- グリーン商品購入の推進
- 適切な車両管理と運行
- 地域社会への環境貢献

2) 水資源の重要性を認識し、環境に有益な活動を推進することで、広く生活環境に貢献することに努めます。

3) 事業活動を遂行するにあたり、環境に関する法律、条例及びその他の要求事項を順守します。

4) 環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、効果的な環境管理を実現することに努めます。

5) 全従業員の環境への取組を目指し、環境に関する意識の向上を図るとともに、環境方針を実践、維持し、これを一般に公開します。

2-2.環境側面の特定

環境マネジメントを進める上で欠かすことのできないことが「環境側面」の特定であると言えます。「環境側面」とは私たちの生活においては馴染みの薄い言葉かも知れませんが、「環境に影響を及ぼしているか、あるいは及ぼす可能性がある要素を指しています。環境側面の特定は、各環境側面について、環境負荷（環境に与えるマイナスの影響）をどのように直接また間接的に低減できるかを論じて行く段階へと進む土台となるものです。以下に考えられる主要な環境側面及びその側面に対しての活動内容の概要を記述します。

環境側面	関連する環境活動
資源の消費	環境負荷の低減及び汚染の予防に資する物品の調達の推進
エネルギーの使用	省エネルギー対策の実施
一般廃棄物の発生・処理	分別廃棄の推進、(PC)の適切な廃棄
一般社会への啓発	漏水調査業務による水資源の保護
社内及び社外への啓発	環境美化活動の参加

2-3.環境マネジメントの目的・目標

環境保全に資するため、水道業務を通じて環境資源の保護活動に取り組んでいます。

また、地域による環境美化活動等に参加することにより、国内規模の環境保全に取り組んでいます。

本社・関東支店・関西支店において、道路上の漏水調査により、道路下に埋設されている、水道管の劣化による漏水を早期発見することにより、水資源の保護に努めています。

2-4.廃棄物による環境負荷低減の活動

当社では、事業活動で発生する廃棄物の減量を推進するため、分別廃棄を徹底し、正しいごみ出しを徹底するため、事務所内にごみ廃棄の仕方ポスターを貼り、ごみ廃棄のルールを周知しています。また、事業で使用しているPCの廃棄について、専門の廃棄業者に依頼しています。

2-5. 省エネルギーとCO₂の削減活動

当社の業務場所は、室内では事務系になるため関東支店においては、執務室の照明を一部 LED に替えて、省エネルギー活動を実施しています。また、関東支店・関西支店の管轄する営業所の使用する社用車を、電気自動車の導入により CO₂ の削減を実施しています。

2-6. 環境負荷低減の意識向上による活動

従業員に環境負荷低減を啓蒙し、環境負荷低減に対する意識の向上を目指して、

ISO14001 についてと題して、ISO14001 に取組む意義、活動の具体的な内容を説明しています。また、当社の運用について理解してもらい、環境負荷低減へ向けた活動の意識向上を狙いとしています。そして地球環境の脅威と題して近年大きな影響を及ぼしている「巨大台風について」を、テーマとして解説しています。最後に簡単な理解度テストを実施して、受講者の ISO14001 に対する意識の向上を確認しています。

3. 環境負荷低減に向けた活動

3-1. 省エネルギー・CO₂の削減推進

(1) CO₂の削減と限りある資源の保全

関東支店・関西支店を中心にそれぞれが管轄する営業所において、電気自動車、電動バイク、ハイブリッド車を導入しています。また、近距離の移動においては、自動車、バイクではなく、電動アシスト付き自転車を導入して、資源の保全を実施しています。電気自動車、電動バイクについては、その動力となる電気の充電施設を確保する必要がありますので、配備する営業所の所在スペース等により、全営業所での配備が可能ではありません。しかしながら、今後地球規模の原油等の資源の枯渇を考えたときに、未来に向けた業務においては、有効な手段と考えています。

電気自動車・ハイブリッド車配備状況

電気自動車	21 台
ハイブリッド車	18 台
電動バイク	5 台

※2018 年 3 月現在



電気自動車 i-MiEV

燃費率状況表

	2016	2017
本社	18.76km	21.54km
関東支店	15.48km	17.80km
関西支店	18.77km	21.43km

(2) 省エネに関するポスターの掲示 及び節電対策として「クールビズ」 の励行

限りある資源の枯渇対策として、軽装励行実施期間を、5月1日から実施しています。また省エネに関するポスターを掲示し、不要箇所の電気使用の抑制に取り組んでいます。



電動バイク BIZMO II

3-2.環境保全活動

本社・関東支店・関西支店の各部門において、環境目的として、漏水調査の実施により水資源の保護にどの程度貢献できているか確認しています。これは、当社の業務として、関東管路管理部・関西管路管理部において実施している「漏水調査」業務により、主に公道に埋設されている水道管の漏水を早期発見報告し、漏水箇所を修理することにより、水資源の保全に貢献するというものです。

漏水調査結果

担当部門	漏水量(m ³ /Y)
東北支店	347,009.88
東京支店	78,472.08
関東支店	190,225.15
中部支店	951,013.34
関西支店	1,760,015.40
中・四国支店	57,742.27
九州支店	1,601,065.20



※調査機関：当社管路管理部による、
2017 年 4 月～2018 年 3 月における漏水調査結果

3-4. 地域美化活動

当社の環境方針「水資源の重要性を認識し、環境に有益な活動を推進することで、広く生活環境に貢献することに努めます」に従い、利害関係者の要望に応える活動として、自治体の企画する地域美化活動に参加しています。2017年度は全国12カ所において参加しました。

2017年の主な環境活動等参加実績表

実施年月	事業体名	内容等
2017年4月・10月	徳島県 阿波市・吉野川市	湧水源周辺の清掃活動
2017年5月	福島県 会津若松市	東山ダム周辺クリーン作業
2017年5月	千葉県 八咫水道企業団	ごみゼロ運動環境美化週刊
2017年6月	大分県 大分市	水道水源クリーンアップ大作戦
2017年6月	徳島県 阿南市	リフレッシュ瀬戸内海岸清掃
2017年7月	高知県 高知市	瀬戸湾・七河川一斉清掃
2017年7月	愛媛県 新居浜市	第31回市民一斉清掃
2017年7月	栃木県 小山市	小山市サマーフェスティバル・クリーン作戦
2017年9月	福井県 福井市	海岸クリーンアップ活動（鷹巣海岸）
2017年9月	兵庫県 豊岡市	竹野海岸クリーンアップ作戦 （豊岡市海岸清掃活動）
2017年10月	徳島県 吉野川市	高開の石積み保全活動
2017年11月	愛媛県 松山市	石手川ダム上流域の河川等清掃

(1) 豊岡市海岸清掃活動

関西支店を中心に、毎年、兵庫県豊岡市主催の豊岡市海岸清掃活動に参加しています。

2017年度竹野海岸清掃活動

開催日：2017年9月10日（土）10時30分から13時00分

開催場所：兵庫県豊岡市竹野海岸

参加者：関西支店を中心に24名



(2) おやまサマーフェスティバル

小山市主催のクリーン作戦に参加しています。

開催日：2017年7月31日（月）
開催場所：小山市総合公園駐車場周辺
参加者：小山従業員、関東支店 22名



(3) 「幕張新都心クリーンの日」一斉清掃

関東支店において幕張新都心まちづくり協議会主催の海浜幕張周辺の一斉清掃に参加しています。

開催日：2017年10月11日（水）
開催場所：千葉市美浜区幕張新都心とその周辺
参加者：関東支店 3名



(4) 第31回新居浜市市民一斉清掃

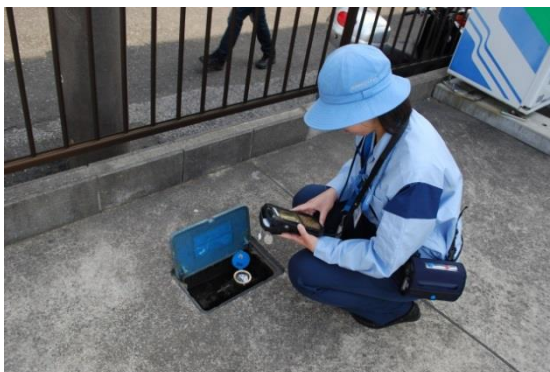
新居浜営業所では、毎年、愛媛県新居浜市主催の市民一斉清掃活動に参加しています。

開催日：2017年7月23日（日）
開催場所：滝の宮送水場周辺周辺
参加者：新居浜営業所 4名



3-5. 有収率向上活動

当社では、限りある水資源を無駄にしないための取り組みとして、検針業務を実施する際に、漏水調査を実施しています。



検針時漏水調査実施事業体

事業体名	業務名	設計数量（戸）
富士市	吉原・舟久保水系島田地区ほか4地区 漏水調査業務委託	24,700
伊豆の国市	平成29年度漏水調査（一次）委託	9,838
十日町市	平成29年度上水道維持管理事業 検針時同時漏水調査業務委託	6,578
伊那市	伊那市上下水道事業窓口等委託業務	7,500

- 報告書に関するお問合せ先

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 CS本部

環境管理事務局

〒108-0022 東京都港区海岸三丁目20番20号ヨコソーレインボータワー

[TEL:03-6858-3300](tel:03-6858-3300)